



今後のポイント: 病害虫・雑草防除、排水対策の再点検、収穫機械・乾燥施設の点検・整備

## 6～8月の気象経過と一か月予報

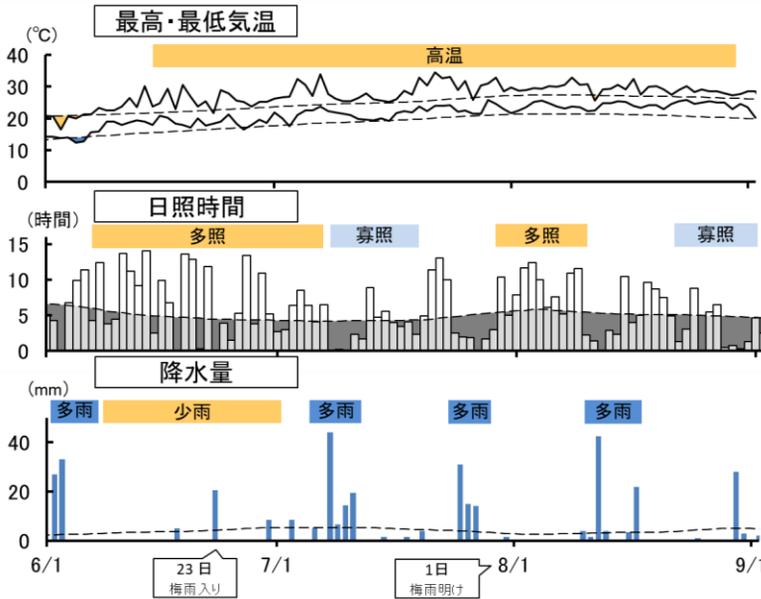


図1 気象経過 (アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温、中: 日照時間、下: 降水量  
※点線は平年値

### ◆8月: 高温多照

- ・平均気温は平年より+2.7℃高くなりました。
- ・日照時間は平年比 105%とやや高くなりました。
- ・降水量は平年比 96%と平年並になりました。

### ◆向こう1か月予報 (9/7 ~ 10/6)

仙台管区气象台9月5日発表

1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

|        |    |    |    |
|--------|----|----|----|
| 【気温】   | 10 | 10 | 80 |
| 【降水量】  | 30 | 30 | 40 |
| 【日照時間】 | 30 | 30 | 40 |

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

週別気温経過の各階級の確率(%)

|       |    |    |    |
|-------|----|----|----|
| 1週目   | 10 | 10 | 80 |
| 2週目   | 10 | 10 | 80 |
| 3~4週目 | 10 | 20 | 70 |

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

1週目: 9/7~13、2週目: 9/14~20

3~4週目: 9/21~10/4

## 生育調査(9月3日)結果

表1 9月3日生育調査

| 品種<br>(作型)      | 地点名<br>(旧市町) | 播種日(月日) |     |     | 開花期(月日) |     |     | 主莖長(cm) |       |       | 主莖節数(節/本) |      |      | 分枝数(本/本) |      |      |
|-----------------|--------------|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-------|-------|-----------|------|------|----------|------|------|
|                 |              | 本年      | 前年差 | 平年差 | 本年      | 前年差 | 平年差 | 本年      | 前年差   | 平年差   | 本年        | 前年差  | 平年差  | 本年       | 前年差  | 平年差  |
| タンレイ<br>(普通)    | 須江<br>(河南)   | 6/11    | -9  | -3  | 7/29    | -6  | -2  | 79.6    | +28.0 | +21.0 | 14.8      | +2.5 | +1.6 | 2.6      | -0.2 | -0.3 |
| タチナガハ<br>(普通)   | 蛇田<br>(石巻)   | 5/25    | -32 | -21 | 7/20    | -17 | -14 | 67.8    | +13.3 | +13.3 | 12.9      | -0.8 | -0.9 | 3.2      | +0.6 | +0.2 |
| ミヤギシロメ<br>(普通)  | 小船越<br>(河北)  | 6/19    | +16 | +7  | 8/08    | +8  | +0  | 75.8    | -12.9 | -3.4  | 15.2      | -0.3 | 0.0  | 4.0      | +0.3 | +0.5 |
| ミヤギシロメ<br>(麦あと) | 大曲<br>(矢本)   | 6/21    | +9  | +5  | 8/06    | +2  | -4  | 87.1    | -2.4  | +1.1  | 15.9      | -0.1 | +0.5 | 5.6      | +2.2 | +2.1 |

※1 平年差・比: H31~R5の5か年平均(平年値)との差

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す

※3 タンレイは、R6より調査開始のため、前年・平年値はR5までの水沼タンレイの値を使用

※4 大曲ミヤギシロメは、R6より調査開始のため、前年・平年差はR5年までの小船越・桃生ミヤギシロメの平均を使用

◆ 主莖長は、タンレイ・タチナガハでは平年を上回り、ミヤギシロメでは平年並みとなりました。

◆ 主莖節数は、タンレイでは平年を上回り、タチナガハでは平年を下回り、ミヤギシロメでは平年並みとなりました。

◆ 分枝数は、タンレイでは平年を下回り、それ以外では平年を上回りました。

## 今後の管理

### ◆ 排水対策

- ◎ 落水口や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、畝間の水を効率的に排出するために、枕地の畝を切って額縁明きよ・落水口につなげましょう。

### ◆ 雑草対策

- ◎ 9月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため、イヌホオズキやアレチウリなどの難防除雑草の多いほ場では、早めに除草を行いましょ。
- ◎ タデ類やアメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草は、コンバイン収穫時に汚粒の原因となります。**雑草が種子を作らないうち**に手取り除草を行いましょ。
- ◎ 大豆落葉終期～収穫14日前までは「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用した非選択性除草剤による雑草茎葉散布(大豆の茎葉・莢に直接かけないように散布する方法)が可能です。大型雑草は茎や果実の水分が低下しにくく、汚粒の原因となる場合があるので、手取り除草を行いましょ。



タデ類



シロザ



イヌホオズキ

- ◎ ほ場に落ちた種子は湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換での減少は望めません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょ。

- ◎ アレチウリや帰化アサガオなどのつる性雑草が畑に侵入しているほ場が確認されています。減収や収穫作業に重大な障害を及ぼす可能性があります。**雑草が種子を作らないうちに**手取り除草を行いましょ。有効な土壌処理剤の利用や体系処理による防除が有効です(宮城県「普及に移す技術」第90号参照)。



ダイズ畑に侵入している帰化アサガオ



宮城県「普及に移す技術」第90号